第１０７回

# 経済史研究会

経済史研究会を下記の通り開催いたします。
大学院生を含め多くの研究者の参加をお待ちしています。

報告

閻　　立　大阪経済大学経済学部 教授

テーマ

## 清末東三省の新政と日本
## ―東三省の建省を中心として―

概要

清末の 1901 年以降、西太后の主導により清朝政府が新政改革を始めた。その一環として 1907 年 4 月に清王朝の発祥地である東三省地域では盛京、吉林、黒龍江将軍による軍政体制を廃止し、代わって（内地各省と同様の）行省制度を導入し、総督と巡撫を設置した。

本報告ではまず東三省の建省過程において日本がどうかかわっていたのか、どのような役割を果たしたのかを分析し、そして清末の新政期における日中関係を解明したいと思う。

日時

2022 年 9 月 24 日（土）14：00～17：00

形式

対面形式（会場：大阪経済大学　G 館 3 階　共同研究室 I）

申込

参加ご希望の方は下記フォームよりお知らせください
**https://forms.gle/5o36XWPL93kuwwEY8**

新経済史宣言
大阪に座して時空を超える

**大阪経済大学 日本経済史研究所**
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅 2-2-8
TEL：06-6328-2431　　E-MAIL： nikkeisi@osaka-ue.ac.jp
https://www.osaka-ue.ac.jp/research/nikkeisi/